
多面的機能支払 メールマガジン 「農村ふるさと保全通信」 第 108 号(2022. 2. 14)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第108号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、「100年後の将来へ豊かな環境と景観を引き継ぐために農業者と地域住民と関係機関とが地域一丸となって活動を推進する」ことをモットーに活動する組織と、小学校や学童保育と連携し、地域の動植物の保全に向けたビオトープ（田んぼの学校）などを実施する組織、地元の高校生や小学生を含めて良好な農村環境の継承に向けて活動する組織について紹介します。また、地域住民にも親しみやすい写真を掲載した広報誌を構成員への配布と地域への回覧をしている事例を紹介します。

-----第 108 号の目次-----

1. 活動組織の紹介

☆きららネット ^{あじす}阿知須（山口県山口市）☆

☆本沢 ^{もとさわ}地区豊かな地域づくり協議会（山形県山形市）☆

☆大原野 ^{おはらの}「水土里リフレッシュ」（京都府京都市）☆

2. 活動組織の広報誌紹介

☆端野 ^{たんの}地域資源保全向上活動集団（北海道北見市）☆

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介（1）～きららネット^{あじす} 阿知須（山口県山口市）～ ■

～ 地区概要 ～

山口県山口市の南西部に位置し、中心経営体を中心に水稻、麦、大豆やキャベツ、かぼちゃなどを栽培する地域を拠点に活動しています。

活動範囲は、田 302.1ha、畑 13.4ha、水路 114.2km、農道 46.5km、ため池 16か所。農地維持活動及び資源向上活動（共同、長寿命化）に取り組んでいます。

～ 主な取組 ～

○地域共同活動

本組織は平成 19 年に農地・水・環境保全向上対策が始まった時から活動に取り組み、今では^{あじす}阿知須 地域内 21 集落の農業者・非農業者と共に自治会や JA などの関係団体と連携して、農道や水路法面の草刈り、水路の泥上げなどを実施しており、地域住民活動として定着しています。

本組織では「100 年後の将来へ豊かな環境と景観を引き継ぐために農業者と地域住民と関係機関とが地域一丸となって活動を推進する」ことをモットーに活動に取り組んでおり、近年では、土木会社を退職した技術者と重機のオペレーターが構成員として活動体制に加わったことから、組織内に工事担当部局を設け、従来、工事業者へ委託していた作業（農道の補修・更新や水路の浚渫など）を直営施工で行っています。



直営施工（ふとん籠工法^{かご}）による補修工事



「井関小学校への出前授業」
名産かぼちゃ(くりまさる)の植付け



「井関小学校への出前授業」
名産かぼちゃ(くりまさる)の調理体験

その中でも特筆すべき点は、大雨により、農道の法面が崩壊して、排水路を覆い通水障害が発生した際に、構成員自ら土砂を撤去し、技術者構成員の指導のもと直営施工（「ふとん籠工法」）で補修したことです。

○学校教育との連携

また、「農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化」の活動として、平成 26 年から毎年、関係機関と連携して、阿知須地域内の井関小学校と阿知須小学校に出向き、地元の将来を担う子供たちを対象に出前授業を開催しています。

地域の名産品（「くりまさる（かぼちゃ）」や「寒漬け（阿知須地域で昔からつくられてきた大根の漬物）」）を活かし、種蒔きや植付け、収穫から調理（学校給食）まで一貫した体験の場の提供と継続した活動により、「伝統」と「おいしさ」の輪を繋げています。



「阿知須小学校への出前授業」
児童による大根収穫体験



「阿知須小学校への出前授業」
料理教室での寒漬けづくり

【きららネット 阿知須 代表：兼重隆文】

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)～本沢地区豊かな地域づくり協議会(山形県山形市)～ ■

～ 地区概要 ～

当地区は、山形市の南西部に位置し、12 集落より構成されています。白鷹山を源流とする本沢川流域に広がる水田と、周辺の山を開墾して造成した果樹園と畑で成りたっています。圃場整備事業（昭和 56 年より通水）で、一区画 30a 圃場に、パイプ灌漑装置が設置され、最上川より導水し用排水分離がなされています。認定農用地面積は、水田約 226ha、畑約 60ha、合計約 286ha で、保全管理する施設は、開水路約 50km、パイプライン約 40km、農道約 26km、ため池等 3 か所等があります。

当地区の主要な特産物は、水稻、ぶどう、きゅうり等の施設野菜、青菜漬け、セリ等があり、特にぶどうは本沢ぶどうとして有名です。

～ 主 な 取 組 ～

○農地維持支払・資源向上支払（共同）活動

各施設の点検活動とし、4半期に1回程度と、大雨や台風後に巡回点検を実施し、軽微な部分補修を実施しています。また、各集落や水利組合毎に水路の土砂上げや草刈りも実施。土地改良区役員と連携し、ため池等の流木やごみの除去も実施しています。さらに取水する本沢川の水質向上のために「川をきれいに」の啓蒙看板設置や毎年2回の水質調査を実施しています。小学校及び学童保育と連携し、地域の動植物の保全に向けたビオトープ（田んぼの学校）や野菜・花作りを体験する（語らい花壇）活動を実施。さらに、小学4年生を対象に、出前教室とし、地区の環境や農業について学習会も開催しています。

○資源向上支払（長寿命化）活動

近年自然災害が多発しているため、築40年程経過し老朽化している水路（組立柵渠）等の各施設の補修等を中心に、計画的に実施しています。

○今後の活動に向けての課題と要望

平成19年以来当事業に取り組んでおり、地域の方々より、感謝の言葉を沢山耳にしますが、少子高齢化による児童数を始め、農業担い手、さらに当事業の担い手の減少が課題です。

事業の円滑な推進に向けた研修会等を引き続き実施して欲しいです。



本沢ダム（ため池）清掃作業



小学4年生と生き物調査



学童保育児童とのサツマイモ堀



農道補修作業

【本沢地区豊かな地域づくり協議会会長 ^{あわのしょうぞう} 栗野 省三】

■ 1. 活動組織の活動紹介(3)～^{おはらの}大原野「水土里リフレッシュ」(京都府京都市)～ ■

～ 地 区 概 要 ～

京都市西南部に位置し、西山山地の裾野に広がる丘陵地帯の農地を中心に活動しています。

活動範囲は、田 150.2ha、畑 7.6ha で、農業用施設は、水路 41.3km、農道 24.4km、ため池 31 箇所です。

～ 主 な 取 組 ～

平成 19 年度から活動に取り組み、平成 27 年度には農家組織の地域運営協議会、土地改良区、自治連合会等と広域協定を締結し、農地維持、資源向上（共同）、資源向上（長寿命化）により、水路、農道、ため池等の保安全管理と補修を行うとともに、有害鳥獣対策や異常気象時の対応にも、農業者が協力して取り組むことで、農地と生産基盤の保全に努めています。

農村環境保全活動では、地元高校生が参加し、休耕田にひまわりを植栽した他、ため池の外来種駆除活動の中で、地域の小学生やその家族が参加し、ため池の生き物調査を行うなど、世代を超えた交流を図ることにより地域の活性化と、良好な農村環境が将来に継承されるよう活動しています。



有害鳥獣対策（防護策等の補修）



外来種の駆除



休耕田を活用したひまわりの植栽



ため池の生き物調査

【^{おはらの}大原野「水土里リフレッシュ」代表 北村貢】

■2. 活動組織の広報誌紹介 ～^{たんの}端野 地域資源保全向上活動集団(北海道北見市)～

広報誌の概要 「とんぼの未来・北の里づくり通信」

- ◇ 年に1回、活動組織の定期総会時に構成員全員に広報誌「とんぼの未来・北の里づくり通信」を紙媒体で配布するとともに、地域住民の方に活動内容や事業趣旨を理解していただくために、団体構成員である自治会に地域への回覧をお願いしています。
- ◇ 昨年度の広報誌では、年度内に実施した農地・農業用施設の保全活動や植栽、生態系調査などについて、写真を多く用いて報告しました。

■～ 工夫しているポイント ～

★ポイント1★：A4版1ページに収まるように！

簡潔で見やすいことを意識しながら、なるべく当該年度に実施したすべての活動内容が A4 版1ページに収まるようにレイアウトを工夫しています。

★ポイント2★：活動写真を大きく掲載！

文字数は必要最低限とし、実施した活動の写真を大きく掲載することで、一目で昨年度実施した活動を振り返ることができるように工夫しています。

★ポイント3★：地域住民にも親しみやすく！

植栽や子供たちとの生態系調査など、活動地区内の地域住民にも親しみやすい写真の掲載をこころがけ、活動内容などを理解してもらえるような内容となるように工夫しています。

ポイント1 A4版1ページに収まるように!

簡潔で見やすいことを意識しながら、なるべく当該年度に実施したすべての活動内容がA4版1ページに収まるようにレイアウトを工夫しています。

端野地域資源保全向上活動集団

令和2年度

とんぼの未来北の里づくり通信

(多面的機能支払交付金)



今年度の活動報告



「フラワーロード」
幅1メートル全長100メートルに数種類の花を植栽しました。今年はカレーライスマラソンが中止となりましたが、広域農道を通る車両の車窓からこの景観を見てもらえたと思います。



「生態系調査」
地域の子供たちがたくさん集まって第一屯田川で生態系調査を行いました。ヤマベ、ウグイ、ドジョウ、イワナの生息を確認しました。



「点検・機能診断」
役員で水路、耕作道、農地などを巡回し補修箇所などの点検を行いました。



「開水路の土砂上げ」
作付前の環境整備で土砂上げをしました。



「計画策定」
役員で水路、耕作道、農地などを巡回した結果をまとめ、補修工事などの内容を決めました。



「耕作道の草刈り」
農業者全員で耕作道、農地などを刈り払い機で行いました。

今年を振り返って・・・
今年はコロナ禍での活動を余儀なくされ総会や研修会も制限されましたが、予定しておりました事業については、ほぼ予定どおり進めることができました。コロナの終息を願いつつ来年度も計画どおり事業展開を進めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行者 端野地域資源保全向上活動集団
会長 中川 博 光
発行日 令和3年3月27日

ポイント2 活動写真を大きく掲載!

文字数は必要最低限とし、実施した活動の写真を大きく掲載することで、一目で昨年度実施した活動を振り返ることができるように工夫しています。

ポイント3 地域住民にも親しみやす

植栽や子供たちとの生態系調査など、活動地区内の地域住民にも親しみやすい写真の掲載をこころがけ、活動内容などを理解してもらえそうな内容となるように工夫しています。

■ 編集後記 ■

読者のみなさまこんにちは。今日はバレンタインデーですね！！ 3連休にお菓子作りを楽しんだ方もいらっしゃるでしょうか。私は現在ひとり暮らしをしています。道具を揃えるところからスタートしなければならないので、お菓子作りからは縁遠くなってしまいました。大きめに砕いた板チョコレートを入れて焼くドロップクッキーがお気に入りなので、お菓子作りを趣味にして自宅時間を有効活用するのもいいなと思っているところです。

いつも本メールマガジンを読んで頂き、ありがとうございます。少しずつ暖かくなっていくと嬉しいですね。みなさま、どうぞご自愛ください。それでは、また次号もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤原、小貫）

TEL：03-3502-8111（内線 5493）